

## 2 ジュニア・リーダー会の充実

# 「ジュニア・リーダーが子ども会の未来を創る ～確かな息吹～！」

まずは、リーダー会の濱口洋輔会長にリーダー会（特にジュニア・リーダー）に関して感じておられることや願いをおうかがいしました。

**事務局** こんにちは。お忙しい中インタビューにお時間を割いていただきありがとうございます。まずは、自己紹介をお願いします。

**濱口さん** こんにちは。濱口です。今年度からリーダー会の会長を務めています。今年度、熊本市で活動をしていました。子ども会活動は、かれこれ15年くらいになりますか…

**事務局** お話にもありましたが、子ども会のことからすると、子ども会に関わられておられます。濱口さんがそこまで子ども会に関わられているには、きっと子ども会になにかそこまで引き付ける魅力があると思います。いかがですか？

**濱口さん** やはり一番の魅力は、上下年齢・男女関係なく色んな人と一緒に活動ができる場所ではないでしょうか。子ども会のコンセプトになっているとおり、まさに異年齢集団活動ですね。

**事務局** なるほど、そのような魅力があるんですね。さて、12月のJ.R研修会は中止になりましたが、どのような企画を考えておられたのでしょうか。

**濱口さん** そこ聞いちゃいます？（笑い）実は僕は自身はほとんど考えて



【リーダー会濱口会長】

いないのですよ（笑い）リーダー会には20名ほどの会員がいるのですが、その中から高校生3人が、リーダー会の役員（研修企画や書記など）になってもらっています。実は、その役員が中心となって色んな計画を企てていたようです。レクリエーションゲームの講習会や安全啓発活動（KYT）など、楽しさあり、真面目さありの企画が目白押しだったようです。

**事務局** 新型コロナウイルス対応については、どうされるつもりでしたか。

**濱口さん** コロナウイルス対策は、僕の方で色々と考えていました。基本的な感染防止・予防対策はもちろんのこと、活動の場面ごとに感染防止体制を整える予定でした。高校生役員もしっかりとアイデアを出してくれましたよ。

**事務局** 6月から会議や打ち合わせをされたとお聞きしています。12月の本番までどのような準備をされましたか。

**濱口さん** 準備物関係は、高校生役員に任せてありました。僕の方は必要に応じて連絡調整をしていただけです。コロナ禍なので、みんなで集まっただけです。コロナ禍なので、メールや電話を駆使して連絡を取り合っていましたよ。

**事務局** ジュニアリーダーの役員の紹介をお願いします。

**濱口さん** はい。実は役員にはインタビューを行っておりません！  
熊本県子ども会リーダー会からジュニア・リーダーの役員お二人の方にインタビューをします。

ジュニア・リーダーに入ったきっかけやリーダー会での抱負を語っていただきましたよ。

まずは、お二人の名前と所属の市町村を教えてください。

**上村茄鈴さん** 氷川町子ども会育成協議会に所属しています。

**上村桜花さん** 氷川町子ども会育成協議会に所属しています。

二人とも氷川町の子ども会なんですね。お二人がジュニア・リーダーを始めたいきっかけは何ですか。

**上村茄鈴さん** 小さいころから子ども会活動に参加していたので、その頃からいつか自分もジュニア・リーダーをやってみたいと思っていました。

**上村桜花さん** 中学校に入学したときに学校からジュニア・リーダー募集のチラシを貰い、とても興味が湧いたので入ってみました。のびのびとかけつけます。

お二人にとっては子ども会活動の中でもジュニア・リーダーという存在がとても魅力的だったのでしょうか。そんなお二人は、いま熊本県子ども会リーダー会にも所属して活動を頑張っていますよね。リーダー会入って良かったなと思うことは何かありますか。

**上村茄鈴さん** 規模の大きなイベントに関わることができるので、一つ一つの活動対して地元で行っている活動より更に充実した達成感があります。また、熊本県以外のジュニア・リーダーとも関わりが持てるため、子ども会活動の知識を増やすことができます。



本年度は、令和4年度九州地区ジュニア・リーダー研修会熊本大会に向け、リーダー会が新たなスタートを切りました。昨年の12月開催予定の研修会もリーダー会やジュニア・リーダー役員による綿密な準備を行ないました。ただ、新型コロナウイルス感染防止のためやむなく中止をしました。その取組の様子と想いを皆様にお伝えします。



【ジュニア・リーダーの役員】

**上村桜花さん** 他  
市町村のジュニア・リーダーとの交流ができ、人前で話す機会も多くなるため、自分にとってとても良い経験になっています。市町村子ども会への貢献のみならず、熊本県全体の活動にも貢献できています。

二人とも、すごいなー。僕なんかより考えがしっかりしている…(汗)  
さてさて、そのような真面目なお二人のリーダーにお聞きします。  
何かリーダー会でやってみたいことはありますか。

**上村加鈴さん** やはり九州地区子ども会大会を熊本で開催したいです！そのほか、小学生やまだジュニア・リーダーを知らない子ども達をたくさん集めて、何か楽しいイベントを開催してみたいです。

**上村桜花さん** 小学生・中学生を対象とした楽しいイベントを開催したいです。少しでもジュニア・リーダーの楽しさを知ってもらい、興味を抱いてもらえるようにしたいです。

いや、すごいなー！

楽しいイベントだけではなく、ジュニア・リーダーの魅力もしっかりと伝えるイベントを開催したいとは！恐れ入ります…。

九州大会も熊本で開催したいですねー。頑張ってくださいませ。

では、そんなお二人から最後にジュニア・

リーダーの皆さんに一言お願いします。  
**二人で** 新型コロナウイルスにめげず、みんなで一緒に子ども会活動を盛り上げていきます。

《ここから濱口さんとのインタビューに戻ります》

**事務局** 研修会のために準備するジュニア・リーダー役員の高校生の姿は、どんな様子でしたか。

**濱口さん** そうですねー。まず、僕が彼女らに接するうえで一番大事にしていることがあってですね。それは、「彼女らの考えやアイデアを否定しないこと」です。役員といっても学生ですから、社会人とは知識や経験が違うことは当たり前なんです。僕は、まずは彼女らの考えをしっかりと聞いて、それをベースにこつちが持っている知識などをプラスしてあげるようにしています。辛い役員の子たちは、積極的にどんどんアイデアを出してくれますよ！

**事務局** 話は変わりますが、今、子ども会が停滞傾向という課題がありますが、濱口さんから何かヒントになる提案を頂けたらありがたいのですが。

**濱口さん** 難しい質問ですね…ヒントになるかどうか分かりませんが、僕は、子ども会の枠にとらわれず、どんどん周りを巻き込んでいって良いと感じています。事務局でも、協賛企業を募ったりしています。どう？そんな感じで、いろんな場所で子ども会の良さを知ってもらっていけば、いつかは輪が出来ていくのではないかと思います。

**事務局** 濱口さん、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が収束次第ではありますが、新しいアイデアをくれたJR研修会を楽しみにしております。また、今回ジュニア・リーダーの役員のお二人には、快くインタビューに応じていただきました。役員として氷川町子連の高野きららさんを含め3人の頑張りを頼もしく感じるばかりです。子ども会の合言葉に、「子ども達による子ども会活動へ」とありますが、まさしくジュニア・リーダーの皆さんが作り上げていく姿がここにあります。令和4年度の九州地区ジュニア・リーダー研修会熊本大会がますます楽しみになりました。

本日は、お忙しい中、インタビューにお答えいただきありがとうございます。



## 熊本県子ども会のホームページをのぞいてみよう！

熊本県子ども会連合会では、子ども会の様々な情報をタイムリーにお届けするためにホームページを公開しました。会員の皆様にも役に立つ情報もありますので、今回4つに絞りご紹介します。

【ホームページのトップ画面】



①**会員証特典**……………ここから最新の協賛施設情報を見ることができます。施設の利用方法が載せてありますし、もっと詳しく知りたい方には、施設のホームページもリンクしています。事前に見ておくと楽しみも増えますよ！

②**会員投稿リレー**……………ここは、会員の皆さん声を投稿することができます。ルールは簡単。見た人が嫌な思いを持たなければOK。100字程度の文章を県子連事務局あてにFAXかメールで送ってください。投稿された方には、秘密のプレゼントが届きます。

③**お知らせ**……………ここでは、これまでのお知らせをスクロールすることで見ることができます。見逃したビッグニュースやもう一度見たいニュースなどがあります。

④**子ども会について**…特に「知っ得！子ども会」は必見です。ここを見るとあなたも「子ども会ものしり」になれるかも？ちなみに、今回は、単位子ども会で悩みが多い次の記事を紹介します。

○少子化や核家族化で地域団体での構成ができませんが、どうしたらいいでしょうか。

地域のサークル仲間での構成や町村全体での構成という枠組みでの「単位子ども会」を組織することができます。実際、熊本県でもサークル仲間子ども会に加入されている団体があります。